

HELP KIT エピペン[®]携帯ケース

林間学校、修学旅行、
野外活動、キャンプや
スキーに行く時も
使える！

前につけて
いる例



⇒断熱材が入っています。中仕切りがありますので、小さなアイスバックも入れられます。

Y.Sさんの経験

学校で行う社会活動の「林間学校」に参加した。自然豊かな森の中を2時間かけて歩くとき、水筒以外何も持ってはいけないと言われ、エピペンを養護教諭に預けた。昼食後に歩いたせいか運動誘発の兆候が出て、全身にじんましが広がってしまった。養護教諭は1キロ近く先を歩いていたので、クラスメートに呼びに行ってもらった。エピペンを使ったのは発症から30分近くたってからだった。本人が身につける形でエピペンを持って参加したかった。

⇒エピペン[®] 携帯ケース (HELP KIT) を使うと、身体にぴったりつけてエピペンを持ち歩くことができる

N.Kくんの経験

剣道の県大会に参加する時、スクールバスに荷物を残し、各自は胴着をつけて竹刀を持つ以外は何も持たないように言われた。エピペンの保管に困って他の荷物と一緒にバスに置いていたところ、昼食の弁当を食べた後腹痛とじんましが出来、エピペンが必要になってしまった。体育館から離れた場所に駐車場があり、先生が取りに行ってくれたが30分以上は時間がかかったと思う。

⇒両手をふさぐことが無いので行動を制限しない
自分が試合をするときは先生に携帯ケースごと預けることができる



改良
しました

紐を一番短く
した状態

エピペン[®] 携帯ケース作成プロジェクト
NPO法人アトピッ子地球の子ネットワーク

エピペン® 携帯ケース (HELP KIT) を みんなで作りました



NPO法人アトピッ子地球の子ネットワークが
主催する「夏休み環境教育キャンプ2014」に
参加した皆さん(食物アレルギーの
子どものお母さん18人)と話し合いました。

- 高学年になるとかわいいデザインのをあまり身につけたがらない。
目立たない、茶色、黒、紺などがいいのではないかと。まずは黒い色のものを作ってほしい。
- 肩にかけるベルトの長さが調節できて、大人も子どもも使えるのが望ましい。必要なときは教師が身につけて保管する場面でも使えるし、体格が大きくなった男子も使えるのではないかと。
- いざという時に、パッとあけてエピペンを取り出せるようにしなければならない。ファスナーは引っかかることが懸念される。見た目はよくないがマジックテープが理想。
- 外を歩いたりスポーツ関連の行事で使うことを想定すると、ザブザブ洗えるものもいい。
- 軽量、コンパクト、丈夫なものがいい。

改良しました

- 第一回目の制作の時は、ファミリーホームのOさん（お子さん2人が食物アレルギー）が型紙をおこし、材料の裁断をし、縫製をアレルギーサポートネット埼玉のMさんが担当しました。
- 携帯ケースの利用者アンケートをもとに奥行きと長さを1cmずつ広げ、さらに使いやすくなりました。現在は製作を引き受けてくれる会社もみつかりました。

小児科の先生にお聞きしました

- 断熱の工夫をしてほしい
- エピペンの薬液の温度を適温に保つ工夫が必要

紐を長くした状態



頒価

2,000円 + 税 (2,160円)

・使用感アンケートをお願いします。お礼に500円図書券をプレゼントします。
いただいた使用感アンケートの結果は、随時ホームページ等でご紹介します。

エピペン® 携帯ケース (HELP KIT)
使用感アンケートの結果

<http://www.atopicco.org/topic/help-kit.html>

入手方法

ご購入希望の方は、下記まで電話、FAX、E-mailどんな方法でもかまいません。
お問い合わせください。

お支払方法は、郵便振替の他インターネット決済 (Bokinchan) も可能です。ま
ずはご連絡ください。

問い合わせ先

認定NPO法人 アトピッ子地球の子ネットワーク



TEL 03-5948-7891 FAX 03-5291-1392

メール info@atopicco.org

〒169-00751 東京都新宿区高田馬場1-34-12
竹内ローリエビル503



エピペン® 携帯ケース (HELP KIT) は、積水ハウスマッチングプログラムの会助成金で実現しました。